

会 議 議 事 録

1 会議名	「長岡の子ども50冊」(仮)第2回 選定委員会
2 開催日時	令和3年10月6日(水曜日) 午前10時から正午まで
3 開催場所	中央図書館 講座室1
4 出席者名	(委員) 錦恵美子委員長 丸田俊一副委員長 淵本紀子委員 中村厚子委員 (事務局) 佐藤中央図書館長 中村館長補佐 松矢奉仕係長 井口主査 渡邊主査
5 欠席者名	なし
6 議題	議事1 「長岡の子ども50冊(仮)」リストの内容について 議事2 「長岡の子ども50冊(仮)」名称について
7 審議結果の概要	・議事1について 年代別選定候補図書リストについて、意見交換し、既定冊数に絞り込んだ。 ・議事2について 候補を基に意見交換し絞り込んだ。

8 審議の内容	
事務局	<p>議事（１）「長岡の子ども５０冊（仮）」リスト内容について</p> <p>ただ今から、長岡の子ども５０冊（仮）第２回選定委員会を開催いたします。</p> <p>議事に入る前に、資料の確認をお願いいたします。まず、事前に配布しました、会議次第、選定候補リストです。みんなのおすすめ本アンケート、リストのイメージサンプル、長岡の子ども５０冊名称について、を本日お配りしております。不足がありましたら、お知らせください。</p> <p>本日は各年代のリストについて１５分ずつ意見交換をお願いします。</p> <p>それではここからの議事は次第に沿って錦先生から進めていただきます。錦先生、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>いい本ぞろいで２０冊選ぶのに心苦しい。選定の方法はどうしますか。図書館で選んだ２０冊、それ以外にこちらがいいのではないかな等のご意見をいただきたいと思う。</p>
事務局	<p>【０歳から２歳】（２０冊）</p> <p>選ぶポイントは、保護者が読んであげる本なので、厚紙で作られているものや、言葉のリズムがいいものを中心に選んでいる。日本語のリズムが楽しくて子供にすっと入っていくものを選んだ。色鮮やかなものを入れている。今どきのお母さんが選びやすいものを。</p>
委員長	<p>生後６か月くらいからの読み聞かせがよいのではとされている。前は１０か月くらいと考えられていたが、変わってきている。出版社、編集者もそのつもりで作っている。はっきりした色に赤ちゃんは飛びつく。リズム感あるものを重点的に選んでいきたい。『いないいないばあ』は何年も経っているが赤ちゃんが大好きですね。ぜひ入れたい。『てんてんてん』はどこで読んでも赤ちゃんの反応がよい。だれかな？という赤ちゃんが反応する。輪郭が黒でしっかり描かれているところが赤ちゃんにはっきり見えるのだと思う。リズムに合わせて手足バタバタさせて喜ぶ。『くだもの』も定番絵本ですね。本物そっくり描かれていて子どもたちは「さあどうぞ」と言われると這ってきて寄ってきてつまんで食べようとする。季節に応じて描かれているのもよくできている。夏のぶどう、秋のナシ、栗、柿と続く。作者は日本画家で、サクランボの季節になるのを１年待って描いたそう。これよりはこれ、というのがあったらどうぞ。</p>

事務局	<p>同じ作家の『おにぎり』もあるが、『くだもの』の方が捕食（おやつ）の存在感があって子どもにとってワクワク感があって気持ちが躍るのではないかと思い『くだもの』を選んだ。</p> <p>『くだもの』でよいですか。</p> <p>（一同承諾）</p>
委員	<p>『なにをたべてきたの?』は色がきれい。3から5歳になっているが、0から2歳でもよいのでは。</p>
事務局	<p>前回の会議で錦委員長からお話のあった科学絵本として『どうぶつのおやこ』はどうか。</p>
委員	<p>藪内さんは定評がありますね。</p>
委員	<p>文字のない絵本ですね。</p>
事務局	<p>絵本を見ながら「わんわん、いたね」等語りかけてほしい。「おさるさん見に行こうか」等家庭の中で話を膨らませてほしい。</p>
委員	<p>若い保護者の方には、文章のない絵本はどうかしら。</p>
委員	<p>文章がない分、自由に読めるところがある。</p> <p>藪内さんの差し絵の他の絵本にもつながる。『しっぽのはたらき』等の科学絵本もある。</p>
事務局	<p>五味太郎もいくつか候補が上がっている。『きいろいのはちょうちょ』『きんぎょがにげた』五味太郎さんのさがす絵本はどうか。</p>
委員長	<p>子どもは探す絵本が好き。異論はない。</p>
事務局	<p>『いろいろばあ』は新しい絵本なのであまりご覧になったことがないかもしれない。色がまじりあうと色が変わる、というストーリー。カラフルでよいが、あまりなじみがないかもしれない。</p>
委員	<p>それより『あおくんときいろくん』のほうがいい。お話しに広がりがあり、読んだ後、セロファンで色遊びなどもできる。『いろいろばあ』と『てんてんてん』を入れ替えてもいいかと思う。</p>

委員長	2歳くらいから物語のあるものがよい。ストーリーのあるものも入れている。最初のものがたりとして『ぞうくんのさんぽ』、『わにわにのおふろ』なんかは物語性がある。
事務局	前回の会議で「この年代に3歳から5歳につながるような少しストーリーのあるものを」というご意見もあったので、その点を意識して選んでいる。『しろくまちゃんのほっとけーき』など。
委員長	ストーリー性のあるものを選ぶのはよい。『ぞうくんのさんぽ』もストーリー性がある。
事務局	『ぞうくんのさんぽ』（読む） 『わにわにのおふろ』（読む）
委員長	『もこもこもこ』はいい。子どもって意外と抽象的なものが好き。大人は意味を求めてしまう。目的とか結論とか。元永定正は抽象画家で、谷川俊太郎がことばを書いている。 『もこもこもこ』（読む）
委員	この本は、保育園でもとても人気があった。 2歳になるとストーリーのあるものがあるので、0から1歳で何冊、2歳で何冊と決めるとよいのでは。
委員	ストーリー性で言ったら『おつきさまこんばんは』『しろくまちゃんのほっとけーき』
委員	『ねないこだれだ』は夜寝ない子によい。声色を変えて読んだりして、楽しめる。
委員長	20冊というのは厳しいですね
事務局	『いろいろばあ』を抜いて『てんてんてん』を入れることでよいか。
委員長	【3歳から5歳】（20冊） 科学絵本で『からだのなかでドゥンドゥンドゥン』はどうか。本には3歳からと書いてあるが子どもたちの反応がとてもよかった。いろんな動物の心臓の音が登場する。

委員	0から2歳でもいいかな、くりかえしのことばで。絵が独特。
委員長	本には3歳からと書いてありますね。意外ですね
委員	本に書いてある年齢にこだわりすぎないほうが良いのでは。
委員長	目安ですからね。
事務局	『からだのなかでドゥンドゥンドゥン』（読む）
委員長	子どもたちは友達同士や親や猫の心臓に耳を当てたりする。最後に命の音を持つてることがわかる、という内容。
事務局	科学絵本では『ふゆめがっしょうだん』がある。
委員長	思わぬ発見の絵本。虫眼鏡を持って庭に出てみると、木の幹が人や動物の顔のようになっている。この絵本を見るまでは気が付かなかった。最後に木の名前が一覧で書いてある。木の表情がみんな違っている。
委員	木の表情を、1年を通して見てみるとおもしろい。
委員長	自然界に気づかされる、普段そこまで目がいけない。観察する楽しさを教えてくれる。
委員長	『みんなうんち』もみんな好き。
委員	うんちだけで好き。
事務局	『みんなうんち』（読む）
委員長	動物園に行くと子どもたちは動物の排泄シーンで喜ぶ。この本を読んだから動物園に行くともっと楽しいと思う。
事務局	『ごろごろにゃーん』『ぶたのたね』のようなナンセンス絵本はどうか。
委員長	いいですね。子どもは意味なんか求めていないから、こういう本はいい。ごろごろにゃーんと言うだけの絵本。
事務局	

<p>委員長</p>	<p>昔話絵本は、日本のもの、外国のもの両方、この年代の子どもたちに読んでもらいたいものを選んだ。</p>
<p>事務局</p>	<p>『さんまいのおふだ』は新潟の昔話でよいと思う。 それから『こずすめのぼうけん』は典型的な、行って帰る物語で古典的な冒険物語。</p>
<p>委員長</p>	<p>『こずすめのぼうけん』（読む）</p>
<p>事務局</p>	<p>『こんとあき』も冒険の物語。絵本の中で冒険を疑似体験できるのはいいと思う。泣いている場面では自分も悲しくなってくると思う。空想上の友だち、ぬいぐるみが登場する。林明子さんの作品は『はじめてのおつかい』等たくさんあるので迷う。</p>
<p>委員長</p>	<p>『いやいやえん』は読んでもらう設定か？5歳までのリストに入れるべきか。</p>
<p>事務局</p>	<p>幼年童話で、読んでもらう想定をしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>5歳までの中に入れるかどうか。物語は楽しいから、読んであげたい本だ。</p>
<p>事務局</p>	<p>20冊の中に科学絵本をどれくらい入れるか。『わゴムはどのくらいのびるかしら？』もいい。</p>
<p>委員</p>	<p>『わゴムはどのくらいのびるかしら？』（読む）</p>
<p>委員長</p>	<p>子どもが本を見て、ひとりで読める本と、保護者が読み聞かせをしなければいけない本とあると思うが。</p>
<p>委員長</p>	<p>基本的にこの年齢では、前提としては読んでもらうこと。自分でたどどしく読むのでは、物語を想像できない。小学校1・2年生でも読んであげる方が良い。</p>
<p>委員</p>	<p>『いやいやえん』は小学生1年生でも自分ひとりで読んで理解できないかもしれない。</p> <p>子どもは何度も読んでもらうと覚えてしまう。</p> <p>『さんびきのやぎのがらがらどん』は国民的な昔話。何度も読んであげてくださいという注意書きがあるとよい。頭に残って一生のものになってくれるとよい。スウェーデンでは誰もがそらで語れるほどの国民的昔話。</p>

委員長	
委員	子どもは一冊暗唱したりする。『いやいやえん』は読んであげたい。
委員	自分の体験と、保護者が読んであげるのが合わせるとよい。
委員長	保育園では読み聞かせをしているが、お昼寝をしなくなった年長さんたちに読む。保護者は忙しく、読み聞かせが難しい場合も。
図書館長	たった5分、10分で2冊読める。長ければ1話読める。読み聞かせをおすすめしたい。
委員	悪いことをすると物置に入れられ、男の子が外に出て女の子が留守番にいる、という話が今の時代にどうなのか。
委員	昔は男女の役割について疑問を持たない時代だった。
事務局	アンケートでだぶっていた本もあったので、それも取り上げたらどうか。
委員長	【小学校低学年】(20冊) 科学絵本として『このよでいちばんはやいのは』『とりになったきょうりゅうのはなし』を錦委員長から提案いただいた。
事務局	『とりになったきょうりゅうのはなし』恐竜は絶滅したけれど鳥として現存している。これは興味を持つ子が多い。
事務局	『このよでいちばんはやいのは』(読む)
錦委員長	科学絵本としては、『しずくのぼうけん』『雑草のくらし』『どうぶつえんガイド』『わたし』を入れている。
事務局	子どもたちに『わたし』を読むと、考えをめぐらす表情をする。
委員長	『わたし』(読む)
事務局	自分の存在を意識する。なかなか面白いと思う。 『ウラパン・オコサ』は数学の本でなかなかよい。
事務局	『ウラパン・オコサ』(読む)

委員長	
事務局	『エルマーのぼうけん』は低学年でも自分で読むのは難しい。読んであげてほしい時期だ。自分で読むなら中学年でもいい。
委員	『おしゃべりなたまごやき』は文章の量が多いが、絵本としてできていて、絵と合っているので割と読みやすい。1年生でも読めるかな、と思う。ここから王様シリーズに進む子もいる
委員	おしゃべりなたまごやきは保育園でもオペレッタでやりました。
委員長	絵の力を借りながら読める。
事務局	『ロバのシルベスターとまほうの小石』は怖がる子もいる。石になってしまうから。お父さんとお母さんの心配はいかばかりか。最後はハッピーエンド。
委員	『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』は自分という存在がずっと昔からつながっているというのをわかりやすく絵本にしている。読むほうも楽しく読める。ユーモラスにおもしろみを感じながら読める。
委員	『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』（読む）
委員	1年生が自分で読みやすそう。
事務局	この作者はジャンルが違う絵本を数多く作っている。
委員長	ストーリー性という『番ネズミのヤカちゃん』でしょうか。ハラハラしつつ、最後はハッピーエンド。幼年童話ではあるが、挿絵が多く読みやすい。
委員	ずいぶん前に出版された本ですね。訳が松岡享子さんですね。科学絵本も入っているし、バランスがいい。2冊多いのでどれをはずしますか。一人で読むには長いのは『もりのかくれんぼう』『ぼくはアフリカにすむきりんといひます』『ぺちゃんコスタンレー』。
委員	『もりのかくれんぼう』（読む）
	『もりのかくれんぼう』は林明子さんの絵の本で、つながりで読み

事務局	たくなるかも。
委員長	『ひみつのカレーライス』（読む） カレーの嫌いな子はあまりいない。一人で読むには内容が厚いのをはずしてはどうか。どれも捨てがたいが『ぺちゃんこスタンレー』『きえた犬のえ』『ぼくはアフリカにすむきりんといひます』（読み比べる）『もりのかくれんぼう』『ぺちゃんこスタンレー』2冊をリストからはずす。
事務局	【小学校中学年】（15冊） 科学絵本は『ぼくらの地図旅行』『しごとば』『富士山にのぼる』『中をそうぞうしてみよ』
委員長	『中をそうぞうしてみよ』（読む） 『世界あちこちゆかいな家めぐり』（読む） 『中をそうぞうしてみよ』はエックス線を通して見えないものが見える絵本。『世界あちこちゆかいな家めぐり』は写真とイラストで、様々な暮らしをしているのがわかる本。
事務局	『しごとば』細かくいろいろな道具が描かれていておもしろい。
事務局	仕事についておもしろく知りたい、という意図で入れている。興味を持って見てもらいたいと思う。
委員長	子どもは学校と家の往復でなかなかいろいろな仕事に触れる機会に恵まれていない。
副委員長	3年生が越後製菓に見学に行った。町探検や地図の見方など、世界が広がってくる時期。
事務局	『ぼくらの地図旅行』は地図を見ながら灯台を目指す。地図があることで行きたいところへ行ける、読み物が苦手な子も読みやすい。
委員長	自分の周りの地図を作ったり、地図を見るのが楽しみな子もいる。
事務局	物語としても面白い。子ども同士の葛藤も描かれている。この年代位から、物語に入り込めるお子さんとそうでないお子さんに分かれ始

<p>委員長</p>	<p>める。そういった子たちも興味を持てるような、自然科学的な本も入れている。</p> <p>『1つぶのおこめ』(読む)</p> <p>数字のお話と王様をこらしめるお話を楽しめる。 『富士山にのぼる』は写真家だけあっていい写真ですね。</p>
<p>副委員長</p>	<p>『富士山にのぼる』(読む)</p> <p>4年生で「ごんぎつね」で気持ちを読み取る単元が教科書にある。いろんな読み方があっていいと思うが、物語でそういうのがあるといいなと思う。人と人の関わりの中で、子どもたちが気持ちを読み取るおはなしがあるとよいと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>人と人の関わりの中で子どもたちが読み込んでいくといいと思う。 『百まいのドレス』は、いじめた子の気持ちがよくわかる。中学年でも読める厚さ。等身大の気持ちがわかる。子どもにとってはわかりやすい。中学年は本格的な物語が読めるようになってきている。物語もこの時期に読ませたい気もする。</p>
<p>事務局</p>	<p>『みしのたくかにと』は勘違いから逆さに読んでしまい意味の分からない「みしのたくかにと」を王子が探す話。</p>
<p>委員</p>	<p>『これはのみのぴこ』はおもしろい。言葉遊びに近い。</p>
<p>事務局</p>	<p>読むほうが必死になる。大変な本。</p>
<p>事務局</p>	<p>『世界でいちばんやかましい音は』とんちのきいた感じの話。世界で一番やかましい音を聞こうとして、みんながしーんとする。</p>
<p>委員長</p>	<p>『かようびのごちそうはひきがえる』はみみずくの家で食べられそうになる話。ハラハラするが、ひきがえるの知恵で、友達になり、きつねにやられそうになったみみずくを助ける、友情の物語。</p>
<p>委員</p>	<p>17冊あるので2冊はずす。難しい。</p>
<p>委員長</p>	<p>落語の『じゅげむ』は子どもたちが暗記して人気。保育園にもあり年齢が低いような気もする。</p>

委員長	NHKの「にほんごであそぼ」でも取り上げられた。
事務局	『百まいのドレス』は高学年に入れますか。
事務局	『じゅげむ』をはずす。
事務局	【小学校高学年】（15冊） ナルニア国物語の新しい訳の本も出ている。イラストも今どきになっている。
委員	前のを知っている人はちょっとと思うが、今の子は読みやすいかもしれない。
委員長	『りんごかもしれない』も話題になりましたね。衝撃作というか。
委員	『魔女の宅急便』はジブリの映画ですか？
事務局	原作です。映画と原作の話とストーリーが少し違うが、親元を離れて一人で町に住む部分は同じ。
事務局	『霧のむこうのふしぎな国』本によって挿絵が違う。
委員	舞台になっているくらいだから、お話は面白い。
委員長	『光の旅かげの旅』読み聞かせにはいいが。途中でひっくり返ししかけ絵本。もっと深い物語を読ませたい。自分で読む子はどんどん読んでいく。
事務局	『ワンダー』は映画にもなっている。顔に障害のある子の話。
委員長	『クローディアの秘密』はどうか。
委員	斎藤惇夫先生の『グリックの冒険』は。
委員長	『ドリトル先生』も入れたいが、『ドリトル先生航海記』など。『シートン動物記』が入っているからいいとするか。
事務局	『シートン動物記』は動物ものでは著名な本。 『ガラスのうさぎ』高学年であれば、戦争の時代での日常のつらさ

副委員長	<p>がわかるのでいいのではないか。</p> <p>長岡ならではの平和教育を大事にしているので、きちんと入れた方が良くと思う。</p>
事務局	<p>『ウエズレーの国』は絵本のかたちではあるが、主人公が独特な性格な子が独特の国を作る。変わった子といわれる子が、ありのままにいいんだよというメッセージ性のある絵本。</p>
事務局	<p>『光の旅かげの旅』を抜けて、『百まいのドレス』を入れるとちょうどよい。</p>
委員長	<p>【中学生】（10冊）</p> <p>『おおきな木』では少年が最後のページで老人になっている。本は子どもたちに未来の幸せを約束するものでなければならない、と思う。未来に向かって生き生きと生きてほしいと思う。</p>
委員	<p>『穴』は暗い話ですか？</p>
図書館長	<p>おもしろいです。冤罪のため、穴を掘らなければならない主人公がのつらい立場だが、負けない、人生を切り開く強さがある。</p>
委員	<p>映画になっているので本のおりのストーリーではないが知名度はある。</p>
委員	<p>『素数ゼミの謎』のような物語ではないものも入っている。 『精霊の守り人』はNHKテレビで見っていた。</p>
委員	<p>明るくなるような本はないか。</p>
委員	<p>ゲドはわからない、難解。</p>
委員長	<p>10冊の中で社会派が多い。</p> <p>『楽しい川辺』をどこかに入れたかった。ファンタジーの定番。動物たちが織り成す日常。友情もあったり。もしかしてこういうふうに住んでいるかもしれない、と思うと心躍る。楽しい物語。</p>
委員	<p>『そして、バトンが渡された』親が変わるけど、明るく生きていく話だが、親世代が読む本かもしれない。中学生にはどうだろうか。</p>

事務局	<p>中学2・3年生は将来を決める時期に読んでもらいたい本はないか。</p> <p>『武士道シックスティーン』は高校生の剣道部、試合で負けたり、熱血と成長のものがたり。</p>
事務局	<p>『素数ゼミの謎』（紹介）</p> <p>『センス・オブ・ワンダー』は自然科学のエッセンス、詩的。ちょっと難しいか。</p>
委員長	<p>写真は新潟、角田浜などの写真。写真家が敬和学園の先生。今は妙高に住んでいる。新潟にゆかりがある。</p>
委員	<p>リストの紹介文に新潟の風景写真掲載と書くといい。</p>
委員長	<p>『沈黙の春』を読んでほしい。</p> <p>『いのちの食べ方』も感動ものです。社会派が多いので追加しませんが。</p>
事務局	<p>『いのちの食べ方』は残念ながら絶版です。</p> <p>『夏の庭』『西の魔女が死んだ』の印象が似ているが著者は別の方。</p>
事務局	<p>【名称について】</p> <p>名称の候補をあげましたのでご覧ください。</p>
委員長	<p>丸を付けて一斉に出すのでどうでしょうか。</p> <p>ストーンと心に落ちるようなタイトルがいいですね。</p>
委員	<p>「長岡ほんナビ 子どもたちに読んでほしい本」</p> <p>テーマはずばって言って、サブテーマで思いを伝えてはどうか。</p>
委員	<p>「本はともだち」</p>
副委員長	<p>「よもよも」ロゴやキャラクターを工夫すると楽しめるかなど。よもよも君とか。キャラクターを考えて。キャッチフレーズをつけて。</p>
事務局	<p>「よもよもブックス」、「よもよも本のとびら」が候補にある。</p>
委員長	<p>子どもが言いやすいことばがよい。</p> <p>「いつも本をそばに」が定番な感じでよい。</p>

<p>図書館長</p> <p>副委員長</p> <p>事務局</p>	<p>リストを小学生のタブレットに入れることを想定しているので、キャッチーなことばがあるとよい。</p> <p>「よもよも 本のとびら」 よもーよもーで牛のキャラクターはどうか。</p> <p>次回第3回選定委員会は1月の予定です。よろしくお願いたします。本日はありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	